

Architect's Gallery

わたしのフォトメモ——街並み編 | 手塚貴晴 | Takaharu Tezuka



ジャングルになったコートヤード

1533年に建設されたスペイン帝国の港町。

南米で集められた財宝は、この港からスペイン本国へと運ばれた。

スペイン人たちは遠い故郷に想いを馳せ、

アルハンブラを思わせる中庭形式の住宅が連なる美しい街並みを形成した。

しかしながら制圧したはずのインカは、静かな抵抗を開始していた。

カルタヘナは赤道直下。

ジャングルから無数に飛来する植物は、わずかな隙間に巢食い、瞬く間に石壁を侵略した。

清楚な石畳の中庭は、いつの間にやら鬱蒼と茂ったジャングルへと変身してしまった。

そういえば、今や純粋なスペイン人たちは少ない。

ジャングルに制圧されてしまった中庭のごとく、

スペインの男どもは美しいインカの娘たちに魅せられ、風土と同化してしまったのである。

撮影地:コロンビア・カルタヘナ | 撮影:2010年

てつかたかはる——建築家/1964年生まれ。1987年、武蔵工業大学卒業。1990年、ペンシルバニア大学大学院修了。1990-94年、リチャード・ロジャース・パートナーシップ・ロンドン勤務。

1994年、手塚建築研究所を手塚由比と共同設立。2003年、武蔵工業大学准教授。2009年、東京都市大学教授。

主な作品:屋根の家[2001]、越後松之山「森の学校」キヨロロ[2003]、ふじようちえん[2007]、箱根彫刻の森 ネットの森[2009]など。

主な著書:「きもちのいい家」[清流出版/2005]、「手塚貴晴+手塚由比 建築カタログ1・2」[TOTO出版/2006・2009]、「手塚貴晴の手で描くパース」[彰国社/2009]、

「Nostalgic Future/Erinnerte Zukunft」[Jovis(ドイツ)/2009]など。